



10月2日(日)秋晴れのもと、日立シビックセンター、新都市広場、マーブルホールを会場に「百年塾フェスタ2016」を開催しました。会場はハロウィンムードに溢れ、たくさんの人でぎわいました。今年もボランティアや連携団体などから多くのご協力をいただきありがとうございました。

【127号の主な内容】

- 私の仕事：家具のアーティスト………3
- 体験が夢をはぐくむ……………2
- シリーズ 私のお気に入り……………3
- コミュニティ訪問 油縄子学区……………2
- 日立に住む外国人たちへの支援を模索…4
- 私の仕事：夢は鑑識のプロに……………3
- 女性ならではの企画が好評……………4

特別講座 「手作りのひな飾りとケーキで楽しいひな祭りをしよう♪」 参加者募集！

- 2/1日(水)13:00~16:00、場所:中小路交流センター、募集人数:15名、講師:市民教授複数名

体験が夢をはぐくむ

小さい頃からのいろいろな体験を通して自分の力や本当に興味が持つことを見つけ、明日への道に向かって進む姿を紹介します。

将来は英語の教師に

茨城キリスト教学園高校2年生の佐藤克洋さんは、小学生の頃にテレビやラジオの英語講座を見聞きして英語に興味を持ちました。中学校の英語の授業では、それまで何となく覚えた英語を正確に理解できる事が楽しかったそうです。

中学1年生の時に日立市の中学生海外短期留学に参加。ニュージーランドの文化や日常生活にふれながら英語力を試せるのが嬉しく、積極的に話しかけることで日常会話のポイントを掴むことができたそうです。

英語の大会にも多く参加し、中



克洋さん(左)と寿哉さん(右)

学2年生の時には再チャレンジで「英語インタラクティブフォーラム茨城大会」で県知事賞を受賞しました。克洋さんは、「同じことを2度体験することに意義を感じます。1度目は初心で、2度目は

1度目の修正と前進。初めての人へのサポートもしたい」と話します。

将来は英語の教師になって、英語を話すことの楽しさを伝えながら国際交流に貢献したいと、夢はさらに広がります。

兄の背を見て

佐藤寿哉さん（大久保中学校2年）は克洋さんの弟で、幼い頃から克洋さんの行動を見て、自分もいろいろなことを体験したいと思ったそうです。小学4年生の時に克洋さんに続いてメディア探検少年団に入団、さらには下水道フェアや農業体験、鉄行列車だけで新潟へ行くことも体験しています。今年7月には中学生海外短期留学に参加。ニュージーランドの広々とした環境と自由な雰囲気に心身の解放を感じるとともに、グループ単位の行動からコミュニケーションの大切さを学んだそうです。

寿哉さんは「学んだことは自分で整理し活用することを習慣づけています」と。英語検定2級を取得し、家では同じく2級を持っている克洋さんと英語で会話の練習をすることもあるそうです。

兄の背中を見てきたと言う寿哉さんに対して克洋さんは、「英語

の大会でも今年、弟は初出場で予選を突破し県知事賞を取りました。いろいろな面で実力は僕を超えていて」と笑います。「学びは『好き』が原点。たくさん体験し社会に役立てる事だと思います」と話す二人。夢に向かって日々切磋琢磨する姿に襟を正される思いです。

楽しいジオラマに笑顔

茨城キリスト教大学附属認定こども園せいじ園の園児が制作した日立のまちのジオラマが、10月2日（日）に開催の「百年塾フェスタ2016」に出展、マーブルホールに展示されました。

地図に基づいて日立の中心街をはじめ当幼稚園がある助川町付近を画用紙などで作り、日立駅やシビックセンター、かみね公園などが実際に上手に表現されています。なかでも自分の家をちゃんと入れて「○○のおうち」と書いてあるのが何とも可愛らしく、来場した人たちが笑顔で見入っていました。

せいじ園の先生方は、「ジオラマづくりで日立のまちをよく知ることができたようです」と話します。



お店に別れての職場体験、ドラム缶風呂、夜の学校探検、工作教室などで関係者の準備は大変と思いますが、小学生には得難い経験になつたようです。

お年寄りを対象とした健康体操の「はつらつクラブ」「ステップクラブ」も10年以上続いている、「ステップクラブ」は長年の功績を認められ、平成24年に県知事から「健康いばらき元気アップ大賞」を受賞しているそうです。

最後に自慢できることを伺ったところ、「事務局の人たちの笑顔」とのお答をいただきました。

行われました。

子ども向けには10年以上続いている1泊2日の「わんぱくビレッジ」があります。今年は油



縄子小の4年生から6年生の男女30名が参加しました。内容は萬春園でのボランティア活動（掃除、お話し、しりとり遊び）、10カ所の

頑張っています “これが私の仕事”

今回は女性の警察官と女性の家具職人を紹介します。お二人とも、小・中学生の頃に抱いた思いや夢を自分の仕事で叶えています。

夢は鑑識のプロに 十王の女性警察官

警察官になって2年半、まだ初々しさが残る二十歳の川上仁実さん。警察学校卒業後、日高交番勤務を経て現在は十王交番勤務、事件や事故、地域の対応やパトロールに精を出しています。

川上さんは那珂市育ち、この平穏な環境と子どもたちの安全を見守りたいと警察官になりました。



今日も地域の安全を願って

勤務は朝9時から24時間通し、約7kgの防刃服を常時まとい夏の暑さにも耐え過酷な業務をこなしています。男女間のいさかいなどがあると女性警察官ゆえ女性側も安心して相談してくれるそうです。交通取締りでは違反をなかなか認めない人に、冷静に説得できるよう修行中とのこと。幸いに剣道3段の腕を実戦で使う機会はまだないと笑っていました。

将来は女性の感性を活かした鑑識業務につければと現有の鑑識検定初級をさらに向上させたいと頑張っています。

勤務明けは仲間と美味しいものを食べ歩くのが楽しみとのこと。

警察官になるためには勉強はもちろん体力も必要で日頃からスポーツで鍛えておくことが大事とのことでした。高校3年で進路を決め、努力の結果1年で警察官になれたので、子どもたちには何事もあきらめないで挑戦して欲しいと話してくれました。

現在女性は全体の8%、県警ではこれを12%に引き上げることを目指し、女性の応募を期待しています。

家具のアーティスト 「コトコト工房」

日立市末広町にある「コトコト工房」はオーダーメイドの手作り家具屋さんで、日立市出身の鈴木美香さんが平成18年に設立しました。現在は同じ大学の仲間だった西島聰さんと2人で店を運営しています。確かな技術と丁寧な仕事ぶりが口コミで広がり、県内全域から注文があるそうです。

美香さんは家具職人としての仕事を「お客様の物へのこだわり

や思い出（愛着）を具現化する仕事」と話します。モットーはお客様の注文に応えられること、未経験の注文でも経験させて貰える機会と考えています。

仕事を始めた頃は作った家具（椅子など）に安全面での責任があり怖いと感じていたそうですが、経験を重ねた現在は「おもしろい」と捉え、楽しみながら仕事をしていると話します。

家具職人になったきっかけは、高校生の時、帰り道に家具屋さんの店頭で見つけた三本脚の椅子でした。椅子は四本脚という固定観念があったが、三本でもしっかりと座れる機能性とそのデザインに魅了され、購入したそうです。アートを家具で表現したいという



西島聰さん(左)と鈴木美香さん(右)

思いが、その後の大学の選択、家具屋への弟子入り、家具屋さんの設立と全ての面でプレゼンに至っているそうです。

子どもたちへのアドバイスは、自分の興味や長所を良く知って伸ばしてほしいと話しました。

小麦粉にこだわり、時間をかけて作るベーグルはどれもモチモチで食べごたえがあり、かつヘルシーです。十数種類あり、どれにしようか迷いますが、日替わりベーグ



カフェーパウゼの佐藤千晶さん

ルは季節の果実の風味が楽しめてお奨めです。

日立市森山町1-27-25 (53-1534)
営業：月～土 10時～16時30分

シリーズ 私のお気に入り みかん園にひびく園児の歓声

「寿みかん園」は、北緯36度40分の十王町山部の丘陵南斜面にあります。昭和36年ごろに植えられた



みかん園受付の斎藤百合子さん

200本ほどの樹に黄色く色づいたみかんがたわわに実っています。ここは、みかんの北限として知られる栃

木県那須烏山市の国見台みかん園より約7km北に位置し、日本の露地栽培みかんの最北限といえます。

この日は数十名の保育園児が家族と一緒にみかん狩りに来て、歓声が園内に響いていました。日立市地域ブランドに認定されている、しっかりした酸味と深い味わいをご賞味ください。☎ 0294 (39) 2086

住宅街のベーグルパン屋さん 「カフェーパウゼ」

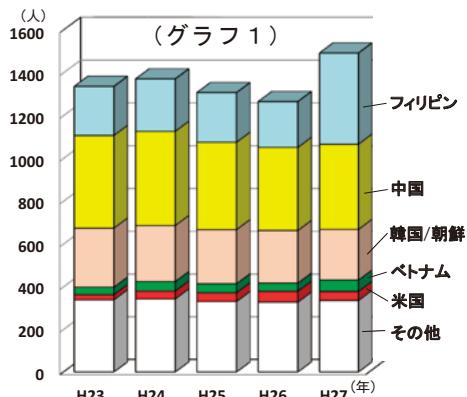
森山町の住宅街の中に、ベーグルとスイーツの小さなお店「カフェーパウゼ」があります。

お店に入ると美味しそうに並んだベーグルとスイーツの甘い香りがしてきます。天然酵母と北海道

日立市に住む外国人たちへの支援を模索

今年日本を訪れた外国人は初めて2千万人を超える見込みです。こうした中、日立市にはどのくらいの外国人が住んでいるか調べてみました。

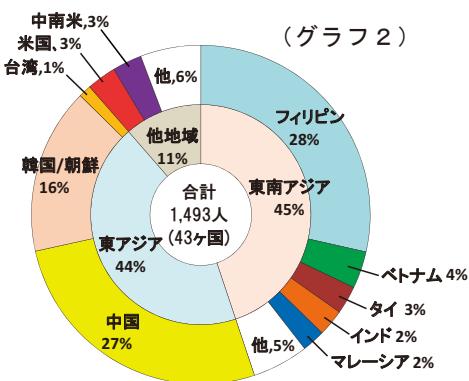
— 日立在住の外国人数 —



日立市の在住外国人は平成27年12月末時点で1,493人です。従来1,300人前後で推移していましたが、平成27年度は1400人を超え、この増加傾向は今後も続くようです。(グラフ1)

— 在住外国人の国別状況 —

地域別にみるとフィリピン、ベトナムなどの東南アジアからと、



中国、韓国などの東アジアからが合せて9割ほどを占め、全体では40カ国以上の人たちが住んでいます。(グラフ2)

— 在留資格は —

外国人が日本に在住する場合は法務省の定める在留資格が必要です。大きく分けると無期限に在住できる永住者と、最大5年までの期限付きの資格とがあります。

市内では永住権をもっている人が570人で約4割近くとなり、残りは期間に制限のある人たちで、企業などの技能実習生が341人、留学生が125人、在留資格を持っている人の家族が102人、日本

女性ならではの企画が好評

百年塾人財部会では今年度の新規事業として、「女性推進委員企画の講座」を計画しました。

企画のポイントとしては、お金をかけずに日常生活の中で新たな発見を楽しむこと、美しいものを見て心を豊かにすることなどです。その最初の試みとして、5月19日に十王駅を基点に神社やバラ園、アートグラス工房、酒造工場などを歩いて巡る「美と食、駅近ハイキング」を実施しました。美・食・健康という女性ならではの視点を

盛り込みながら地元の良さも再確認できる企画が好評で、また実施してとの声が寄せられました。

生活の中に季節感を取り入れた講座なども企画しており、年明け2月には「ひな祭り」がテーマの講座も開かれます。



■百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています

- 推進委員の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部 事務局

日立市教育委員会 生涯学習課 ☎0294(23)9150 FAX 22-0465

百年塾サロン ☎0294(23)9165 FAX 24-5200

〒317-0064 日立市神峰町1-6-11 日立市教育プラザ

ホームページ <http://www.net1jway.ne.jp/iki100j/>

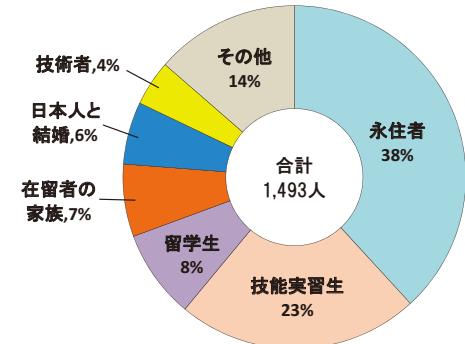
E-mail iki100j@net1jway.ne.jp

人と結婚した人が88人などです。(グラフ3)

このように私たちの周りには大勢の外国人が住んでいます。彼らは日本とは異なる環境で育ち、宗教や習慣も違います。逆に私たちが違う国の言葉を習ったり、その国の文化や料理、生活様式などを紹介してもらうこともできます。この違いをお互いに理解し共に生活していく工夫が重要です。

百年塾では現在、外国の人々から日立市に対する感想・意見を聞き、今後の国際交流や支援に役立てようとアンケートを実施しています。結果は次号で紹介する予定です。

(グラフ3)



出典：データは日立市の「平成27年度日立の国際交流」より引用

私たちは百年塾運動を応援します

2016.9.10～11.14(敬称略)【個人】

畠谷和代 亀山志郎 後藤登喜雄
後藤恵美子 藤井敏子 渡部八郎
安藤壽 門馬正和(八方寿司)

新市民教授登録

2016.9月～11月に登録の方(敬称略)

- 宮田真歩 / 東金沢町 (ゆるヨガ)
- 及川謙治 / 河原子町 (ラジオ体操・みんなの体操)
- 小沼康子 / 本宮町 (骨盤調整ダンササイズ、癒しのゆつたりヨガ)
- 皆川直司 / 相賀町(戦争時の体験)
- 山元隆 / みかの原町 (臨床検査解説、禁煙塾)

